

第6回 LPの河川定期縦横断測量への適用検討会

日 時：令和元年6月4日（火） 15：00～17：00

場 所：中央合同庁舎第2号館 共用会議室 2A

<議事要旨>

- 平成30年度に実施した点群測量による河川定期縦横断測量の試行の結果について報告。
- 河川管理用三次元データ活用マニュアル（暫定版）について、目的及び構成について説明。
- 河川管理用三次元データ活用マニュアル（暫定版）は、ALBだけではなく、MMSやUAVなどの技術によって取得された三次元データも対象であることを明確にすべきである。
- 危機管理上の活用など、幅広い用途を想定し、堤内地側の三次元データの取得範囲を設定する必要がある。
- 第3章、ALBによる三次元点群データ取得の作業フローについて、行政担当者が発注時に注意すべきポイントが分かるような構成にする必要がある。
- 瀬、淵構造の把握等、河川環境の定量的な評価において、三次元点群データを活用することは有効であることから、第4章、三次元データの活用方法で例示すべきである。
- 取得された三次元点群データを国土地理院等に蓄積していく必要がある。
- データの保管・管理の詳細については、実務者レベルで検討を進めていく。

以上